

感染症と 共に生きる社会



—不確実な状況のなかで、どう判断し、どう伝えるか—



尾身 茂 先生

公益財団法人結核予防会 理事長

未来の感染症危機に、
私たちはどう備え、どう行動していくべきか。

新型コロナウイルス感染症への対応は、限られた情報と不確実な状況の中で、
専門家、行政、そして県民がそれぞれの立場から判断と行動を重ねてきました。
本イベントでは、経験を振り返り、異なる立場からの視点を共有し、
次の感染症危機に向けて、私たちが今後どうするべきかを考えます。



日時

令和 8 年

11月12日(木)

13:00～16:00

(開場 12:30)



会場

大津市生涯学習センター
1階ホール



会場へのアクセスはこちら
<https://www.city.otsu.lg.jp/sc/l/c/index.html>



対象

- ご興味のある方
- どなたでもご参加いただけます



交通手段について

会場の駐車場は使用できません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

参加
無料

事前申込制 (定員500名)

申込はこちら
締切 令和8年10月30日(金)



このイベントで考えること



1 判断する

不確実な状況のなかで、
何を拠り所に判断するのか



2 伝える

専門家や行政は、
どう伝え、どう向き合うのか



3 備える

次の感染症危機に向けて、
私たちはどう備え、
どう行動するのか

プログラム

基調講演 (60分)

新型コロナウイルス感染症対応
～何を考え、何を悩んできたのか～

講師：尾身 茂 先生

(公益財団法人結核予防会 理事長)

座長：切手 俊弘 次長

(滋賀県健康医療福祉部)

パネルディスカッション (60分)

異なる立場からの経験を共有し、
次の感染症危機に向けて考えます。

座長：中野 恭幸 先生

(滋賀医科大学医学部附属病院 教授)

パネルディスカッション登壇者



尾身 茂 先生

公益財団法人結核予防会 理事長



砂川 富正 先生

国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所 応用疫学研究センター長



大江 秀典 先生

滋賀県立総合病院 感染管理室 室長



川上 寿一 先生

滋賀県保健所長会 副会長



福田 正悟 先生

ふくだ医院 院長



お問い合わせ

滋賀県健康医療福祉部 健康危機管理課

E-mail: kansenkensyuu@pref.shiga.lg.jp TEL: 077-528-3632